

ヒラゴケ科

# タカネメリンスゴケ

*Forsstroemia konoi* (Broth.) Enroth, Fedosov & Ignatov

兵庫県ランク… B

環境省ランク… ー

## ■ 県内分布

川西市、養父市

## ■ 国内分布

本州、四国、九州

## ■ 選定理由

| 人為性    |  | 特殊性    |  | 学術性   |   |
|--------|--|--------|--|-------|---|
| 生育環境破壊 |  | 特殊生育環境 |  | 特殊な分布 |   |
| 観賞用等採取 |  | 特異な生態  |  | 分布の限界 |   |
|        |  |        |  | 希少    | ○ |



## ■ 特記事項

以前の学名は、*Neckera konoi* Broth.

## ■ 保護上の留意点

ー

## ■ 種の概要

大型で二次茎はときに長さ10cm以上になり、不規則に羽状に分枝し、枝先は細長く伸びる。枝先はよく鞭枝状に伸びる。シダレウニゴケによく似ている。二次茎の葉は光沢があり、長さ2-3mm、長楕円形でやや非相称。鋭頭または細く尖り、中部以上には深い横じわがある。中肋は葉の中部またはやや上で終わる。葉身細胞は長楕円形から線形、厚壁で弱いくびれがある。雌雄異株。蒴柄は約8mmあるため蒴は沈生せずに苞葉より高く伸び出る。帽には長毛がある。やや高い山地の岩上(とくに石灰岩)や樹幹基部近くに垂れ下がるように群生する。